

広報あびら 6月号でお知らせした「道の駅」完成予想図に寄せられた
ご質問・ご意見にお答えします。

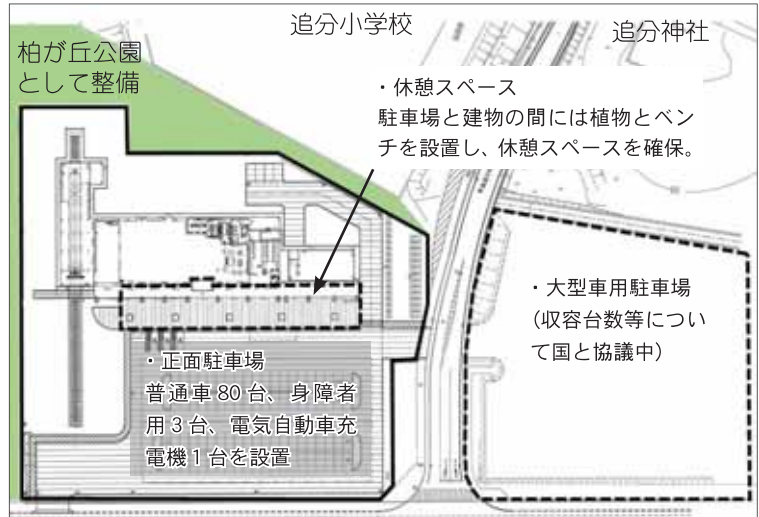
Q1 なぜ柏が丘球場の隣に建設するのですか？ 敷地が狭くないですか？

土地の取得経費抑制と防災拠点としての機能性を考慮し、町有地であるこの位置を建設地としました。道の駅本体施設と正面駐車場で敷地面積は約1ヘクタールですが、道の駅と合わせて野球場横の隣接地を「柏が丘公園」として整備し、一体的な滞在エリアを創出する予定です。このほか、下の外構図のとおり大型車駐車を整備する予定です。

Q2 建物のスペースが小さくないですか？

SL倉庫を含めた本体施設で1,310.66㎡、農産物直売所を加えると1,456.46㎡であり、全道的にも比較的大きめの建物面積を有しています。室内にはゆったりとしたオープンスペースと昭和時代の駅舎を再現する2種類の休憩スペースを充実させています。

また、施設正面にも植物やベンチを配置し、来訪者がゆったりと過ごせるスペースを確保しています。



Q3 大型車駐車場は作らないのですか？

町道を挟んで岩見沢側に大型車駐車場の整備を予定しており、現在、国との協議を行っています。正面の駐車場は、国道から道の駅が目立つよう配慮し、主に普通車の駐車場とする予定です。

道の駅に関するご意見にお答えします

【意見】道の駅をつかって町を盛り上げるのであれば、安平町の物、場所、歴史等をしっかりアピールして魅力的な場所にし、町内の色々な場所に足を運んでもらえるようにしていくことが大切だと思います。

【回答】町としても同じように考えています。安平町は立地条件に恵まれ、魅力ある特産品や地域資源がたくさんありますが、それぞれが分散して存在しており、効果的な魅力発信につながっていない一面があります。

道の駅完成後は、地域の拠点施設として農産品や特産品、歴史、文化、そしてこれらを支える人の力を集結させて町をPRしていくとともに、町内の様々な場所への回遊につながる仕組みをつくっていきたいと考えています。

町内で協議が進められています

◆道の駅農産物直売所生産者協議会準備会

今年2月に『道の駅農産物直売所生産者協議会準備会』が発足しました。

この会は、「農産物直売所生産者協議会」の組織化に向けて会内での販売ルールや規約作りを目的に開設され、現在までに3回の会議を行っています。

メンバーは14名で、道内各地の生産者協議会の事例を参考に、販売上の条件や出荷ルールが話し合われています。



◆『回遊交流戦略検討会』を開催

6月24日(金)に第1回目の『回遊交流戦略検討会』を開催。この検討会は、「交流人口拡大と回遊性を高める方策」や「回遊交流の拠点となる道の駅の運営手法」を協議することを目的に、開設されました。

当日は、あびら観光協会や商工会、一般町民など様々な立場から18名が参加し、町を取り巻く観光の現状について認識を深めるとともに、先進道の駅の運営手法等について実例を分析しました。

